

目 次

原始・古代の厨房	1
旧石器・縄文時代の台所	8
弥生時代の台所	14
古墳時代の台所	19
奈良・平安時代の台所	24
中世以降の台所	27
むかしの台所	29
日常生活の什器	33
冠婚葬祭用の什器	39
展示資料一覧等	45

凡 例

- 1 本書は、第11回企画展「台所と什器の世界」の解説と展示資料の紹介を主とした。
- 2 紙面の都合上、展示資料の一部を割愛した。
- 3 陳列の順序は、本書と必ずしも一致しない。
- 4 本文中での敬称等は、省略させていただいた。
- 5 展示資料・写真等の貸与およびご教示いただいた方々は、冊子末に記した。お許し願いたい。
- 6 本書における責任は、すべて長野市立博物館にある。

第11回企画展

“台所と什器の世界、開催にあたって”

長野市立博物館長 掛川一夫

長野市立博物館は、昭和56年秋開館以来4年、この間に10回にわたる企画展を開催してきました。当館での企画展は、長野盆地の歴史と生活を主題にして展示している常設展示の概観的な内容を補うことを目的にするとともに、資料収集を通じて研究を進めている学芸担当の成果を、来館のみなさんとともに考える機会として開催してきたものでした。そして、この研究の主題は、常に自然の中で人間がいかにかかわってきたかを、各分野にわたって考えることでした。

今回第11回目を迎える展示は、“食、にかかわる企画で、“台所と什器の世界、として、古代から近世にいたる庶民の食生活を、台所と什器を通して見ていただきます。

私どもは毎日三回の食事をとり、生活の基礎とする習慣を守ってきました。古代にあっては、食べることが生活のすべてにつながるような厳しい時代でしたが、今では、食事を楽しみの一つと考えて、生活の中の色どりのように考えられるようになっています。

この際、この間の変遷の様子を追い、食生活の意義を考えていただく機会をつくりました。